



高齢者を交通事故から守ろう！

～お年寄りが安全に暮らせる街づくり～



▲高齢者等交通安全教室
9月22日・25日、市内自動車学校で、高齢者等交通安全教室が行われ、参加者は巻き込み事故等の原因など、事故の恐ろしさを学びました。

全国の交通事故死者数が年々減少している中、鹿屋市内での交通事故は、平成17年から増え続けています。平成21年には、交通事故死亡者数が14人に急増し、人口10万人当たりの死亡事故件数・死者数が、全国1位という残念な結果となりました。本年も9月末までに5人の死者がでるなど、危惧的な状況が続いています。そこで今回、最近の交通事故の主な傾向や、高齢者の交通事故の現状、交通事故の防止の取組などについて紹介します。

【問い合わせ】市民課 ☎0994・31・1114

鹿屋市における最近の交通事故の傾向

- 65歳以上の高齢者が被害者となる事故が多いことです。平成21年の人口1万人当たり高齢死傷者は76・3人で県内最多です。今年亡くなった5人は、全員が高齢者です。
- 類型別では、出会い頭と追突事故が突出し、次に自損事故が多い結果となっています。
- 原因別では、前方不注意・安全不確認が突出しています。
- 当事者の年齢別では20歳代が多く、高齢者と30歳代が続いています。
- 当事者別では、軽乗用車運転者が多く、歩行者や電動カートの重大事故も発生しています。
- 曜日別では火曜日が、時間帯別では17時～18時と7時～8時が多くなっています。
- 発生地別では、市街地の



▲飲酒運転撲滅キャンペーン
鹿屋・垂水間をリレー走行して、飲酒運転の撲滅をアピールしました。

▲死亡事故現場診断
死亡事故現場地点で、発生原因や対策について話し合いました。

交差点内や駐車場内や自宅周辺部での事故の増加があげられます。また、市街地以外の周辺部では、重大事故が発生しています。

最近の死亡事故は高齢者の被害が多いことが特徴です。

高齢者の皆さんは、車を運転するときも道路を歩くときも、十分に注意して交通安全に心がけましょう。

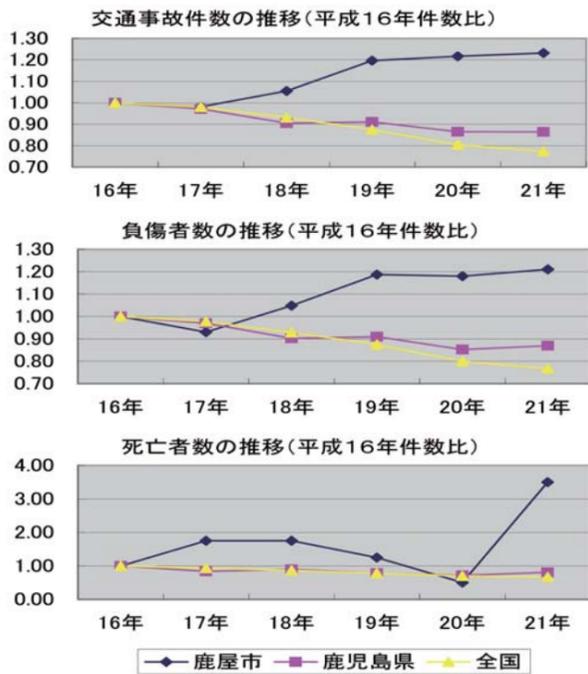
市の交通事故防止のための取組

市では、交通事故防止のため、交通事故の発生状況を市民の皆さんにお知らせすることを第一の対策として、鹿屋警察署・交通安全協会等と連携し「事故件数の減少」と「高齢者の交通事故防止」を最重要目標に、「おやっとなさあ」運動等の三つの重点項目に取り組んでいます。

①「おやっとなさあ」運動

高齢者が、交通事故を防止する上で注意すべき点を分かりやすく、覚えやすいように鹿児島弁の「おやっとなさあ」の言葉に盛り込んであります。

町内会敬老会など高齢者の集まりの際に、ぜひ、皆さんで確認ください。



「おやっとなさあ」運動の各文字が表す意味

- お** 横断中も車を確認！右左（横断歩行者対策）
- や** 夜間歩行 つけて安全！反射材（夜光反射材着用促進対策）
- っ** 着けよう！シートベルト・ヘルメット（自動車・二輪車運転者対策）
- な** 遠くより もっと危険な自宅付近！（歩行者事故発生地点対策）
- さ** 細心の注意で防ごう！操作ミス（自損事故防止対策）
- あ** 安全の願いを込めて 免許返納（運転免許自主返納促進対策）

②「薔薇バラ駐車ストッ プ」作戦

駐車場など前進で止めてバックで出るときの事故が多発していることから、駐車するときにはバックで駐車する「薔薇バラ駐車ストッ

③「つけていますか？」運動

夕暮れ時や夜間の外出時、夜光反射材をつけていますか？

夕暮れ時は、早めに車のライトをつけていますか？

70歳以上の高齢者は、車を運転するとき、高齢者運転者マークをつけていますか？

この3点を確認し実践しましょう。



◀良い例 (バックで駐車)



◀悪い例 (前進で駐車)



▲交通安全教室